

## 令和5年度 小中一貫教育を推進する取組の公表について

大牟田市では、小学校と中学校において、義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある教育課程を編成・実施しています。

本市における小中一貫教育の目的は、以下のとおりです。

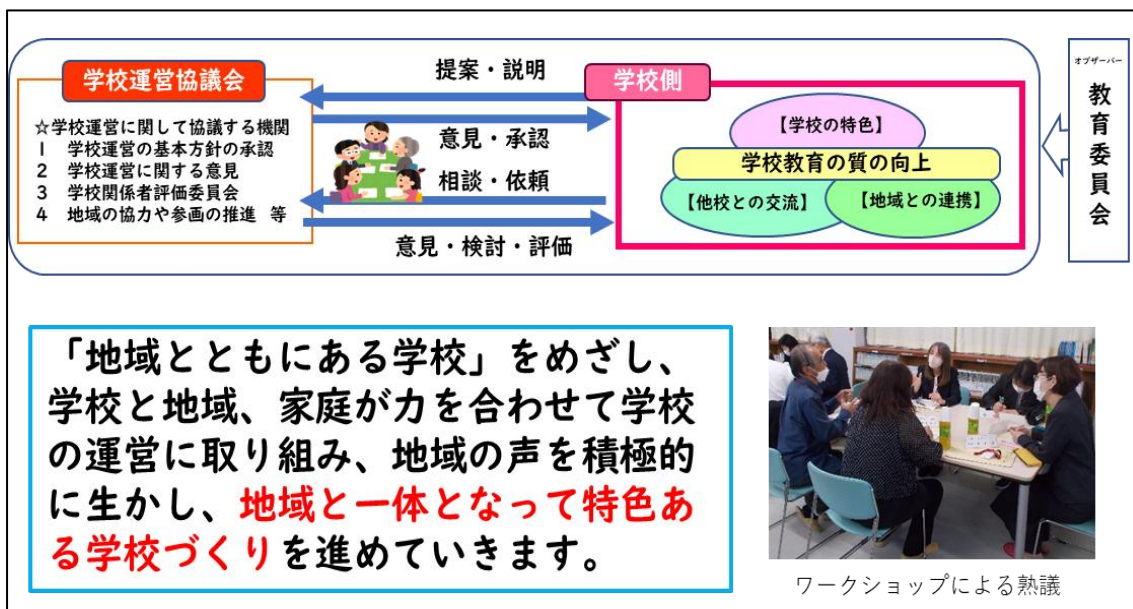
- 義務教育9年間を見通した系統性・連続性のある指導により、児童生徒の学力向上や身の健全な育成、「中1ギャップ」や不登校の解消を目指す。
- 校区の小・中学校がより密接な関係を築き、教育内容・活動の充実を図ることで、教職員の指導力の向上を図る。
- 学校・家庭・地域の「つながり」を深め、「地域とともにある学校づくり」や「学校を核とした地域づくり」を推進する。

その中で、本事業を効率的に推進する取組として、

- ① 学校運営協議会の設置
  - ② 地域学校協働活動推進員の配置
  - ③ スクールソーシャルワーカーの配置
- を実施しているところです。

以下に、この取組について紹介します。

### 1 学校運営協議会の設置について



学校運営協議会とは、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5」に基づく制度で、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域住民が参画できる仕組みであり、学校運営に関する基本的な方針の承認や学校運営等に関する意見の申し出、学校運営状況等の点検、評価及び住民参画の促進、情報発信を行います。本年度、学校運営協議会を設置しているのは、吉野小学校と宮原中学校区です。

## 2 地域学校協働活動推進員の配置

**地域学校協働活動推進員** 学校と家庭・地域をつなぐコーディネーター

学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を円滑に運営するために、**専任の地域学校協働活動推進員**を配置し、学校と家庭・地域が協働して、学校経営に取り組みます。

- 学びをつなぐ
- 子供たちをつなぐ
- 教職員をつなぐ
- 学校と家庭・地域をつなぐ



※M-HATの場合

### 目標

- 9年間を見通した教育課程の編成
- 各小学校区における学校と家庭・地域との協働体制のしくみづくり



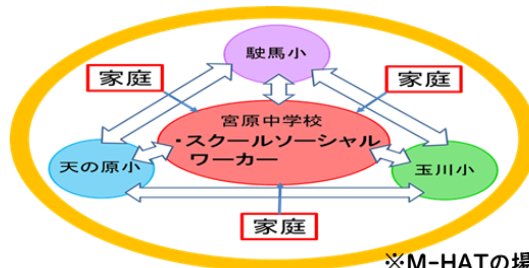
[M-HATとは、宮原中、駿馬小、天の原小、玉川小学校の頭文字をとった名称です]

## 3 スクールソーシャルワーカーの配置

**スクールソーシャルワーカー** 社会福祉等の専門的な知識や技術を有する者

中学校区に、**専任のスクールソーシャルワーカー（SSW）**を配置し、支援が必要な児童生徒や家庭に対して各校が連携して継続的な対応を行います。

- 児童生徒の実態の共有
- 家庭内の状況を共有
- 教職員との連携強化



※M-HATの場合

### 目標

- 問題を抱えた児童生徒に対し、当該児童生徒が置かれた環境への働きかけ
- 関係機関とのネットワークの構築



## 小中一貫教育を推進する取組の紹介

### ○ 宮原中学校区



「駿馬子ども放課後塾」「天の原子ども放課後ふれあい広場」「玉川放課後子ども塾」が、水曜日の午後に行われています。地域や保護者の方々子どもたちの宿題を見たり、その後の楽しい活動を企画・実施したりして、温かく見守ってくださっています。



宮原中学校の体育祭（令和5年10月12日実施）に、駿馬小・天の原小・玉川小の6年生が参加しました。玉入れ競争に参加し、お互いに交流の輪を広げることができました。

### ○ 松原中学校区



松原中学校において、「みんなのスポーツ大会」が行われました。保護者や地域の方々だけでなく、大正小学校と中友小学校の6年児童も参観・参加しました。中学生の迫力ある演技・競技はもとより、地域や学校の一体感も見られた、素晴らしい「みんなのスポーツ大会」となりました。

### ○ 宅峰中学校区



【宅峰中学校】



【みなと小学校】



【天領小学校】



【大牟田中央小学校】

宅峰中学校区においては、小学校も中学校も「防災学習」を行っています。各学校の実態に応じて、ハザードマップを作成したり、浸水・津波を想定した垂直避難訓練を行ったり、非常時を想定して集団下校訓練をしたりして、防災への意識を高める学習を行っています。

## 更なる充実に向けて

小中一貫教育の更なる充実・発展に向けて、様々な取組を行ってまいりました。中でも、本年度から本格導入となった「宮原中学校区学校運営協議会」の設置については、大きな効果がありました。宮原中学校の体育祭への小学6年生の参加や「子ども放課後塾」の開催など、様々な活動を通して子供たちが人とつながるよさを実感できるものになっているのではないかと思います。

これらの活動を推進していくにあたり、学校と地域、家庭の三者が一体となって協働していく必要があると考えます。これまでも、学校行事や活動において、地域の方々や保護者の皆様のお力添えを賜りながら実施してきたことを鑑みますと、これからもなお一層の御協力・御尽力が必要です。

また、「地域の宝」である子供たちの地域への貢献活動も大切です。地域には、これまでに大切にされてきた文化や行事、活動等があります。そこに、子供たちが積極的に関わっていくことで、地域の活性化にもつながっていくと考えます。

本年度、学校運営協議会を設置している吉野小学校と宮原中学校区の学校において、①学校支援活動に関わっていただける地域の方々を増やすとともに、②地域行事や活動に参加する子供たちの数も増やしたいと思い、その合計数140名を目標値として設定し、取組を進めてまいりました。実際には、①245人、②757人の合計1002人となり、大きく目標を達成するとともに、多くの方々に関わっていただき活性化が図れたと考えます。

次年度以降は、さらに学校運営協議会を設置する学校が増えていきます。これまで以上に学校と地域、家庭が連携しながら子供たちを育ていけるよう、皆様のご協力をよろしくお願ひします。